

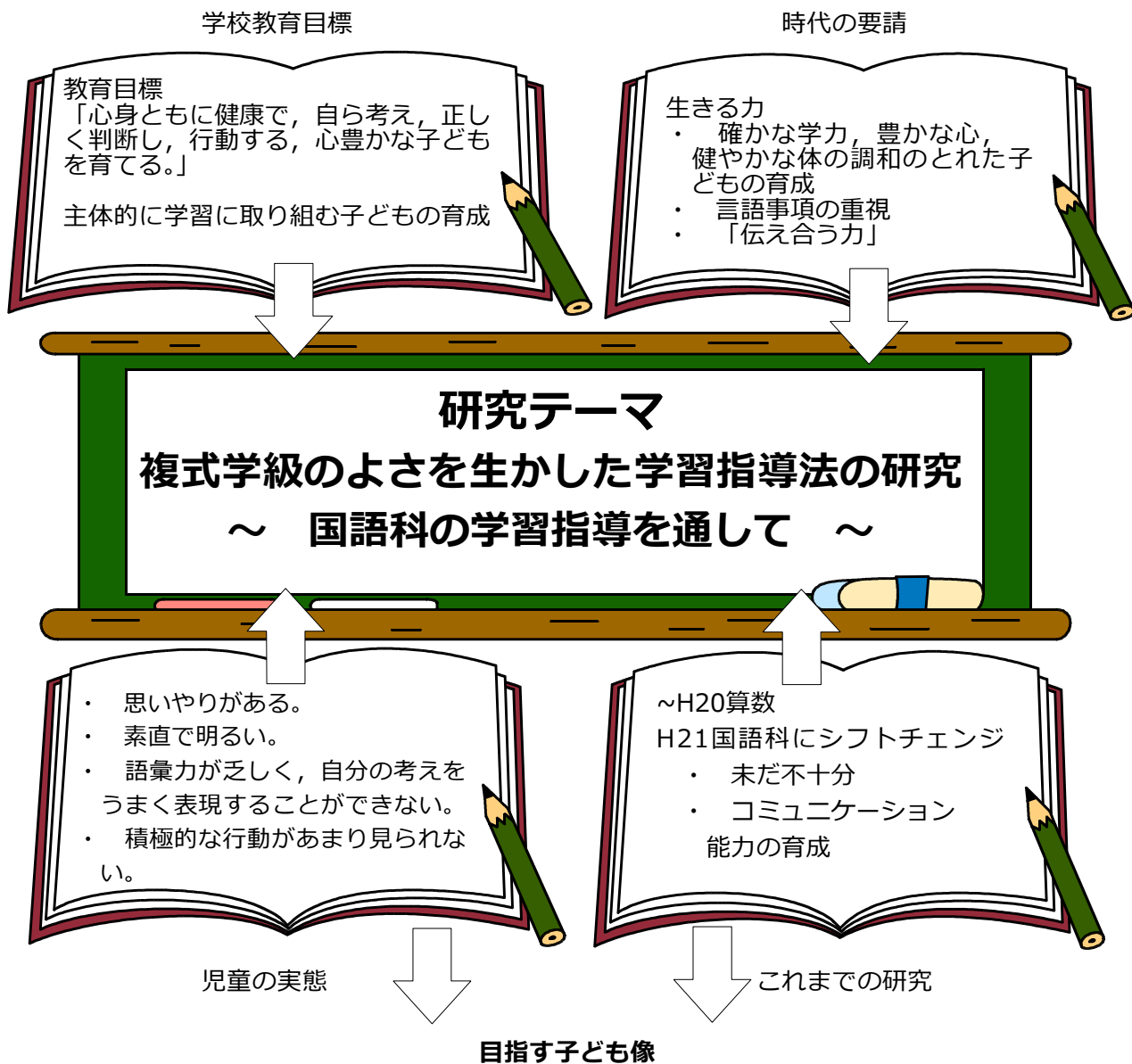
川上小学校

1 研究主題について

(1) 研究主題

複式学級のよさを生かした学習指導方法の研究
～国語科の学習指導を通して～

(2) 研究の構造図



学習に意欲的に取り組み、自分の言葉で自分の思いや考えを伝え合うことができる子ども

(3) 研究主題のとらえ方

研究を進めるにあたり、研究主題における「複式学級のよさ」、そして「よさを生かした学習指導法」について以下のようにとらえることにした。

ア 「複式学級のよさ」について

(ア) 異年齢集団としての特性

① リーダー・協力者の形成

- ・ 上下関係の中で社会性が身につけやすい
- ・ 異学年・同学年の中で、助け合って活動する
- ・ 場面を多く設定でき、協力する態度が身につけやすい
- ・ 上学年の子どもが下学年の子どもの世話をし、リーダー性を発揮しやすい

② 自主的な学習態度の形成

- ・ 教師がつかない間接指導の時間が存在し、自分たちで学習を進める態度や力が身につけやすい

(イ) 少人数集団としての特性

① 学級内の一人ひとりの存在が大きい

- ・ 子ども同士の間関係、子どもと教師の間関係が深まりやすい
- ・ お互いを理解し合い、認め合う雰囲気を醸成しやすい
- ・ 係活動、掃除など一人ひとりの活動の場が保証されており、自覚を持って行動させやすい
- ・ 一人一人の実態把握、個に応じた指導ができる。
- ・ 教師に依存しやすい。

② 協力的態度の育成

- ・ まとまりのある学級を意識して学校生活を送り、協力的な態度が育成されやすい

③ 子どもの見方や考え方の硬直化

- ・ 多様な見方や考え方が出にくい
- ・ 能力の高い子どもの考えに左右されやすい
- ・ 意見交換を基に話し合いが活発になりにくい

(ウ) 地域性からくる特性

① 様々な体験的活動が経験できる

② 地域の方からの協力が得やすい

イ 「よさを生かした学習指導法」とは

(ア) すべての児童の学習内容の定着を図るための一人一人の実態把握と個に応じた指導

(イ) 「ずらし」によるプレテスト、ポストテストの実施等授業構成の工夫を図った指導

(ウ) 学び合いの時間等におけるお互いのよさを認め合い、賞賛し合う場の設定を取り入れた指導

(エ) 児童が学習の進め方を理解し、自立的に学習できるような工夫を図った指導

(4) 研究仮説

研修主題に従い、研究を進めるにあたり、次の2つの仮説を設定し、検証することにした。

<仮説1>

ガイド学習を中心とした学習指導の展開の中で、間接指導を工夫すれば、児童が主体となり、生き生きと学習が展開され、お互いが考えを伝え合えるのではないかと。

<仮説2>

あらゆる教育活動の中で工夫して読書交流を行えば、読書量も増え、語彙力が向上したり、表現力も豊かになったりし、自分の考えを伝えやすくなるのではないかと。

(5) 研究の内容

ア 学習指導法の改善と基礎学力の向上

(ア) 学習指導法の工夫・改善

- 国語科における一単位時間の複式学習の学習過程の検討
- 国語科における複式学習の進め方（ガイド学習の手引き）の検討
- ノート指導，板書・ワークシートの工夫
- 読みの観点の提示

(イ) 漢字力の向上

- 漢字テストの充実（授業，学期末等）

(エ) 補足的な学習・発展的な学習の時間の設定

- レベルアップウイーク，チャレンジタイムの有効活用
- 家庭との連携の在り方

イ コミュニケーション能力の向上

(ア) 音読力・暗唱力の向上 → 音読カードの活用，詩・教材の暗唱

(イ) 読書活動の充実

- 「朝の10分間読書」と「年間100冊読破」等の読書活動の工夫
- 読書交流の場の工夫（，子ども読書の日，読書郵便，コーナー設置，ブログの活用等）

(エ) 授業場面以外での表現活動の場の工夫

- 始業式や終業式，児童集会，学校行事等での発表の場の設定

(オ) 発表力を高める場の工夫

- 学びの方の系統の明確化
- 発表話型の定着

2 研究の実際

(1) 仮説1について

ア 学び方の系統の明確化（話す・聞くを中心に）

項目	1・2年	3・4年	5・6年
育てたい児童像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の約束を守り，元気よく学習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の進め方や仕方がわかり，意欲的に学習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分から見通しをもって学習計と画を立て，主体的に学習に取り組むことができる。
学習の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の時間の学習用具を用意しておくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間になったら，進んで前時の復習をしたり，本時の学習することを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のまとめをおさえ，本時の自分の学習課題を明確にもつことができる。
発表の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 返事をしっかりできる。 ・ 語尾まではっきりと話すことができる。 ・ 主語と述語のある文で話す。 ・ 話の順序や 5W1H を考えて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや話す速さに気をつけて話すことができる。 ・ 要点をしぼり，話の中心がわかるように話す。 ・ 理由や例をあげて，わかりやすく話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意図や考えが伝わるように筋道を立てて，相手にわかりやすく話すことができる。 ・ 相手や目的，場に応じて効果的な話し方をする。
聞き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話す人の方を見て，終わりまで聞くことができる。 ・ 話の順序や 5W1H を考えながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問したり，よく考えたり，反応を返しながらか聞くことができる。 ・ 要点や話の中心を正確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話している意図や要点を聞き取り，自分の考えをもてるように聞くことができる。 ・ 話し方の工夫や内容のよさを考えながら聞くことができる。
話し合い学習の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の司会のもとに，発表し合うことができる。 ・ 話題から外れないように話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の発表をしっかりと聞き，わからないことを質問したりすることができる。 ・ 自分の意見との相違点を考えながら話し合うことができる。 ・ 司会などの役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の発表との相違点に気付く，話し合った結果をまとめることができる。 ・ お互いの意見を関連づけながら話し合うことができる。 ・ 時間や順番を考えながら話し合いを進めることができる。

この系統表をもとに、国語科を中心とし、その他の教科や朝の会のスピーチや行事等での言葉などあらゆる教育活動においても、指導にあたることにした。

イ 実践授業1

(ア) 1・2年での実践

第1学年 単元名：「くらべてみよう」教材：「じどうしゃくらべ」

第2学年 単元名：「だいじなところに気をつけて読もう」教材：「海の中の生き物たち」

(イ) 授業の実際

※・・評価, ◎・・仮説1 関連

過程	教師の支援・評価	主な学習活動(1年)	位置	主な学習活動(2年)	教師の支援・評価	過程
つかむ・みとおす	<p>○ 漢字の定着を図るためにミニテストをする。</p> <p>○ 前時のカードや、本時で学習する自動車の模型から、本時の学習の意欲をもたせる。</p> <p>◎ めあてと学習の流れを確認し、スムーズな学習となるように板書する。</p> <p>◎ 進め方を確認し、二人で話し合いながら進めるよう支援する。</p> <p>○ クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取らせるために、「～のしごとをしています」「そのために」に着目させる。</p> <p>◎ クレーン車の模型または絵を準備し、内容を把握させる。</p> <p>◎ 読み取りや書き込みに時間を要する場合は、前時までに書いたワークシートやカードを見せたり、一緒に教材文を読んで再度2つの語に着目させたりして支援する。</p> <p>※ クレーン車の「し</p>	<p>1 漢字の練習をする。</p> <p>2 前時の学習を振り返り、学習のめあてを話し合う。</p> <p>・ クレーン車の「しごと」と「つくり」をしらべよう。</p> <p>3 教材文を音読し、学習の進め方を確認する。</p> <p>・ 一斉読み ・ 一人読み</p> <p><進め方> しらべる → まとめる → たしかめる</p> <p>4 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>(1) ひとりで調べる。</p> <p>①教材文を音読する。</p> <p>②「～のしごとをしています。」と「そのために」を見つけて、その前後に書かれているしごととつくりをサイドラインを引く。</p> <p>・「しごと」→赤 ・「つくり」→青</p> <p>③発表し合う。</p> <p>④ワークシートに書き、読み返す。</p> <p>(2) カードにまとめ</p>		<p>1 漢字の練習をする。</p> <p>2 前時の学習を振り返る。</p> <p>3 学習計画をもとに、学習内容を確認し、めあてを話し合う。</p> <p>・ ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてしらべよう。</p> <p>4 学習の進め方を確認し、ガイドを中心に取り組み。</p> <p>(1) 音読する。</p> <p>(2) ホンソメワケベラのそうじについて調べる。</p> <p>・ 挿絵(拡大)</p> <p>(3) それぞれの生き物の気持ちを考え、吹き出しに書く。</p> <p>・ うわぁ 大きい口だ ・ おそうじさせてくれてありがとう。 ・ きれいにするからね ・ いつもおそうじありがとう!</p> <p>5 生き物たちになって動いたり、説明したりし</p>	<p>○ 漢字の定着を図るためにミニテストをする。</p> <p>◎ ガイド中心に進められるように、事前に打ち合わせをしておく。</p> <p>○ ガイド役の子どもがめあてを板書する。</p> <p>◎ 学習の進め方を一緒に確認し、スムーズな学習となるように板書する。</p> <p>◎ 事柄の順序や事象とその理由の説明などについて順序立てて考えられるようにワークシートを準備する。</p> <p>※ ホンソメワケベラと大きな魚がいっしょにいるとよいことは何か、それぞれについて読み取ることができる。</p> <p>○ 挿絵を拡大した物を黒板に掲示し、生き物の気持ちを吹き出しに書き入れさせる。</p> <p>○ 姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけさ</p>	つかむ・みとおすしらべる・ふかめる

<p>ごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめることができる。</p>	<p>る。 ①視写して、読み返す。 ②文をもとに絵をかく。</p>	<p>て劇をする。 ・ホンソメワケベラ面 ・大きな魚の面</p>	<p>せて丁寧に書くよう支援する。 ○ それぞれの生き物になって劇化するためにお面を準備する。</p>
<p>○ 姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけさせて丁寧に視写させる。</p> <p>※ 「～のしごとをしています」「そのために」の語を使ってカードにまとめることができる。</p> <p>○ 実際に自動車になった気分で動くよう支援する。</p> <p>○ これまで作成したカードをもとに、それぞれの自動車の仕事や作りを比べ、違いや気づいたことを語尾まではっきり発表させる。</p> <p>○ 全文を音読させることで、これまでの学習をふり返らせる。</p> <p>※二人で話し合いながら学習をすすめることができる。(仮説)</p> <p>○ 考えを広めたり深めさせたりするために、学習したことを異学年で交流させるようにする。</p>	<p>5 「しごと」と「つくり」についてまとめたことを確かめる。</p> <div data-bbox="496 689 751 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>クレーン車はおもいものをつりあげるしごとをしている。 そのために、じょうぶなうでがのびたりうごいたりする。車体がかたむかないようにしっかりしたあしがついている。</p> </div> <p>○ 実際に動いて表現する。</p> <p>6 バス・乗用車、トラックとクレーン車のしごとやつくりについて気づいたことを発表する。</p> <p>7 教材全文を音読する。 ・一斉読み</p> <p>8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。</p>	<p>6 まとめたことを発表する。</p> <div data-bbox="839 544 1110 891" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大きな魚は、体や口についた虫をホンソメワケベラにきれいにとってそうじをしてもらう。 ホンソメワケベラは、大きな魚の体や口についた虫を、食べ物としてもらう。 このように、ホンソメワケベラと大きな魚はかかわり合っている。</p> </div> <p>7 学習したことをもとに感想を発表し、教材文（本時部分）を読む。 ・一斉読み</p> <div data-bbox="839 1167 1126 1391" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>・おそうじしながら虫を食べて栄養をとっているってすごいな。 ・大きな魚となかよく生活しているんだね。</p> </div> <p>8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。</p>	<p>※ かかわり合いについて、叙述に即して正確に読み取ることができる。</p> <p>※ ガイドを中心としながら学習をすすめることができる。(仮説)</p> <p>○ 前時に学習してまとめたことと、本時にまとめたことを比べ、気づいたことや感想を発表させる。その際、語尾まではっきり発言させるように支援する。</p> <p>○ サンゴの海の生き物たちを思いながら、本時の部分を音読させる。</p> <p>○ 考えを広めたり深めさせたりするために、学習したことを異学年で交流させるようにする。</p> <p style="text-align: right;">ふりかえる・いかす</p>



(ウ) 授業の成果と課題

- 具体物を用いた動作化を取り入れ、子どもたちが生き生きと表現活動を行っていた。
- 板書とノートが一体となっており、子どもがスムーズにまとめることができた。
- 子どもが今、学習をどこまで進めているのか把握できる工夫があると、わたりのタイミングがつかみやすい。
- 決められたことが終わったら何をしているか、指示や選択肢を与えるとよい。

ウ 実践授業 2

(ア) 3・4年での実践

第3学年 単元名：「大事なことを考えよう」教材：「すがたをかえた大豆」

第2学年 単元名：「材料の選び方を考えよう」教材：「アップとルーズで伝える」

(イ) 授業の実際

※・・評価, ◎・・仮説1関連

過程	教師の支援・評価	主な学習活動（3年）	位置	主な学習活動（4年）	教師の支援・評価	過程
つかむ 見通す 調べる 深める	<p>・漢字の定着を図るために行う。採点后訂正まで行わせる。</p> <p>・「大豆をおいしく食べるくふう」「大豆から作られた食品」に着目できるように、板書に表し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>◎読みの視点を意識しながら読むようにさせる。</p> <p>戸惑っている児童は、「くふう」「～になりませう」という言葉に着目するよう働きかける。</p> <p>◎ワークシートの準備</p>	<p>1 漢字のミニテストを行う。</p> <p>2 教材文を読む。</p> <p>3 前時の学習を想起し、本時のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大豆をおいしく食べるくふうと大豆の食品を読みとろう。</p> <p>4 読みの視点について確認する。</p> <p>4 第3～5段落を音読する。</p> <p>5 第3段落の内容を読みとる。</p> <p>(1)大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品が書かれている所にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。</p> <p style="text-align: right;">【一人学び】</p>	<p>3</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>3</p>	<p>1 漢字のミニテストを行う。</p> <p>2 前時の学習を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アップとルーズでは、どんなちがいがあのか読みとろう。</p> <p>3 第4～6段落を音読する。</p> <p>4 アップとルーズの違いを読みとる。</p> <p>(1)各段落に書かれていることを確認する。</p> <p>(2)アップとルーズで「分かること」と「分からないこと」が書かれている文にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。【一人学び】</p>	<p>・漢字の定着を図るために行う。採点后訂正まで行わせる。</p> <p>・アップとルーズの特徴を読みとったことを想起させながら、本時の学習課題につなげる</p> <p>・「分かること」「分からないこと」「接続語」「目的に応じて」に着目できるように板書に表し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>◎読みの視点を意識しながら読むようにさせる。</p> <p>◎一人学びの仕方や読みの視点をもとに、一人学びを行わせる。</p> <p>・サイドラインを引くところが分からず、戸惑っている児童は、「分かります」「分かりま</p>	つかむ 見通す 調べる 深める

<p>・ 児童がワークシートにまとめたことを整理しながら板書にまとめる。</p> <p>・ 第3段落で行った読みとりの仕方と同じように、一人学びを行わせる。一人学びが終わったら、間接指導の学び合いを行い、ワークシートにまとめたことを確かめ合わせ、直接指導の学び合いにつなげる。</p> <p>※ 大豆をおいしく食べるくふうについて読む むとることができたか</p> <p>・ 今日の学習を振り返り、分かったこと/感想をノートに書く。書き終わったら音読を行わせる。</p> <p>・ 一つの学習集団としての意識を高めるため、学習内容を4年生に伝えさせ、お互いに聞き合うようにさせる。</p>	<p>(2)大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品について話し合う。 【学び合い】</p> <p>6 第4・5段落の内容を読みとる。 (1)大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品が書かれている所にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> <p>(2)大豆をおいしく食べる工夫と大豆食品についてまとめ、大豆を加工するとどんなよいことがあるのか話し合う。 【学び合い】</p> <p>7 自分の考えを書く。</p> <p>8 自己評価をし、学習したことをまとめ、4年生と交流し合う。</p> <p>9 次時の学習内容の確認をする。</p>	<p>7</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>6</p> <p>3</p>	<p>(2)アップとルーズの違いについて話し合う。 【学び合い】</p> <p>5 アップとルーズを切り替えながら放送する理由について考える。 (1)アップとルーズを切り替えながら放送される理由をワークシートにまとめる。 (2)アップとルーズを切り替えながら放送される理由について話し合う。 【学び合い】</p> <p>6 自己評価をし、学習したことを3年生と交流し合う。</p> <p>7 次時の学習内容の確認をする。</p>	<p>せん」「しかし」「でも」という言葉に着目するよう働きかける。 ◎ワークシートの準備 ・「細かい部分の様子」「広い範囲の様子」について、文章と写真を対応させながら考えさせ、アップとルーズの違いをさらに理解させる。 ・アップやルーズだけの放送だったらどう思うかについて考えさせ、それをもとにして、アップとルーズを切り替えながら放送している理由を書かせる。 ※アップとルーズの長所・短所を読み取ることができたか。 ・同じような理由でも、自分の言葉で発表させる。 ・アップとルーズは、情報の送り手がその時一番知らせたいことを分かりやすく伝えるために目的に応じて使い分けていることをとらえさせる。 ・一つの学習集団としての意識を高めるため、学習内容を3年生に伝えさせ、お互いに聞き合うようにさせる。</p>	<p>ふりかえる</p> <p>ふりかえる</p> <p>・生かす</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------



(ウ) 授業の成果と課題

- 学習計画が掲示してあり、児童が学習の道筋を把握していた。
- 子どもが学習の進め方が分かり、自分たちでめあてを立て学習を進めようと努めていた。
- 読み込みが浅いので、家庭学習も含めて「読む」ことを多く取り入れたほうがよい。
- サイドラインのひき方（タイミングや視点）を積み重ねていく必要がある。

(2) 仮説2について

ア 職員による読み聞かせ
朝の読書タイムを利用し、学校の職員が輪番で各学級に出向き、読み聞かせを行った。読み聞かせをした本は、司書補がブログで内容等を紹介した。



【読み聞かせの風景】



【読み聞かせを聞く児童】

イ 図書紹介

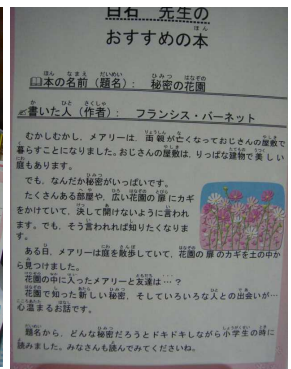
季節や行事ごとにあった本をタイムリーで紹介するコーナーを設置した。また読書週間には教職員がおすすめの本を紹介するコーナーも設置した。



【季節に応じたおすすめの本】



【職員によるおすすめの本】



【おすすめの本カード】

ウ ブログの設置

司書補によるブログを設置し、新刊の紹介等の紹介をするようにした。今後、読んだ本の感想等をコメントに書き込み、交流を図るなど、発展した活用も考えていきたい。

<1・2年生へ教頭先生からの読み聞かせ>
『ぶたくんと100ぴきのおおかみ』/宮西達也(作・絵)
100ぴきのおおかみたちに とりかこまれてしまった ぶたくんに、おおかみは「なかまを100ぴきつれてこい!」といました。それをきいた ぶたくんは…? (『MARC』データベースより)
『ぶたくんと100ぴきのおおかみ』/宮西達也(作・絵)
2006年, 28p, 鈴木出版, NDC913



【ブログの記事】

【ブログの画面】

3 成果と課題

(1) 成果

- 教師との事前打ち合わせを行ったり、ガイド学習の手引きを活用したり、学習の流れを黒板に掲示したりすることで、児童が学習の流れを把握し、ガイド学習をスムーズに進めることができるようになった。
- 児童一人一人の実態を把握し、その子に応じた手立てを工夫するなど、学習内容の理解や学習の速さ等に応じた指導を工夫することができた。
- ワークシートを板書と関連して作成することで、学習がスムーズに行えるようになった。
- 教科書を拡大掲示し、視覚的に指示をすることで、理解が深まり、学習の仕方も定着した。
- 終業式等での発表の際、「まず」「次に」「最後に」など国語で学習した言葉を使い、発表する姿が見られるようになった。
- 「話す・聞く」の系統性を明確化したことにより、子どもに指導することが焦点化できた。
- 推薦図書等を紹介することで、子どもたち同士が本の感想を共有するようになってきた。また、職員が読み聞かせをした本を図書室で見つけるとうれしそうに手にして読み返す姿が見られた。
- 1人1冊辞書を与えることにより活用する姿が見られるようになった。

(2) 課題

- 語彙力が乏しい。辞書や新聞等のうまく活用しながら語彙力をつけ、自分の思いや考えを豊かに表現できるようにしていきたい。また辞書の活用法など共通理解のもと、実践を重ねていきたい。
- 二人ほどの少人数の学級がほとんどのため、学び合いに困難が感じられる。子どもたちが多様な考えに触れることのできる手立てを考えたい。
- 他校とのブログを用いた交流など、子ども同士の読書交流を積極的に行える場を設定したい。
- 電子黒板など、ICTの有効的な活用を考えていきたい。



【教科書の拡大を用いた板書】



【終業式での発表】

国語科ガイド学習の手引き

いちき串木野市立川上小学校

学習過程	カ イ ド
目 読	1 これから目読をします。教科書の○○ページ（○の場面）を読みましょう。 今日は、（まる読み、全員読み、一人読み）をします。
つかむ 見通す	1 今日のめあてを決めましょう。【めあてが決まっていない場合】 今日のめあてを発表してください。【めあてが決まっている場合】 2 めあてをノートに書きましょう。 3 今日の学習の仕方をたしかめましょう。 4 一人調べの時間は何分間がいいですか。発表してください。 5 ○○時○○分まででいいですか。 （ホワイトボードに書いて、黒板にはるまでの時間です）
調べる	1 では、一人調べを始めてください。 （時こくがきたら） 2 発表○分前です。自分の考えをホワイトボードに書いて、黒板にはってください。 3 時間になりました。発表の準備（じゅんび）をしてください。
深める	1 自分の考えを発表してください。考えが分かるように、理由（りゆう）も一しょに発表してください。 2 ありがとうございます。 ○○さんの考えに質問（しつもん）や思ったこと、考えたことはありませんか。 ※ ありません。○○さんと同じ考えです。 ※ 付け加えます。○○さんの考えに△△もつけくわえたらいいと思います。理由は●●だからです。 ※ ちがう考えです。わたしは▲▲だと思ひます。理由は□□だからです。 ※ 質問します。なぜ、◇◇だと考えたのですか。 3 みんなの考えをまとめます。 「○○○」ということでもいいですか。
たしかめる	1 今日の学習のまとめをノート（ワークシート）に書きましょう。 2 今日の学習の感想（反省）をノート（ワークシート）に書きましょう。 おわった人は、今日の学習のところが目読をしましょう。 3 今日、学習したところを目読しましょう。 （まる読み、全員読み、一人読み）をします。 4 感想を発表しましょう。
つなげる	1 次の時間は学習計画書の○番です。読んでめあてを考えておきましょう。

【国語科ガイド学習の手引き】

国語の学習の進め方

まとめ

- ・今日のまとめをノートに書いてください。
- ・どんなまとめがいいか発表してください。
- ・つけくわえやちがう考えはありませんか。
- ・今日のまとめは○でいいですか。
- ・ノートにまとめを書いてください。
- ・まとめがおわったら感想を書いてください。

④ 話し合いをしましょう。
出された考えに質問や意見はありませんか。
大切なことは何だと思ひますか。

③ 自分の考えを発表してください。
わたしは○だと思ひます。
そのわけは△だからです。
にている考えの人はいませんか。
わたしの考えは○○さんの考えに似ていて、△だと思ひます。
その理由は◇だからです。
ほかの考えの人はいませんか。

進め方

② 進め方を発表してください。
○時○分までくをしてください

ホワイトボード

ホワイトボード

ホワイトボード

ホワイトボード

学習の計画

① 今日のめあてを発表してください

ガイドさんを中心にしっかりと話し合い、みんなの考えをまとめていきましょう。

【掲示用：国語の学習の進め方】